



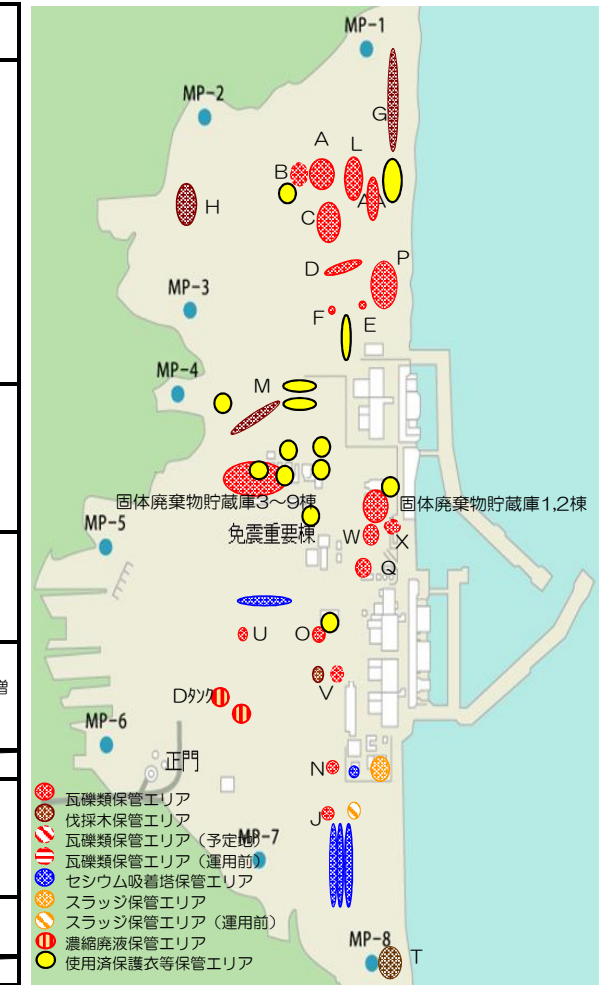
分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	3月		4月		5月		6月		7月		備考			
				日	月	日	月	日	月	日	月	日	月				
保管理計画		除染装置 (AREVA) スラッジ	(実績) ・スラッジ対処方法及び除染方法検討 ・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽 (D) 除塩	検討・設計	スラッジ対処方法検討												・スラッジ除染方法検討完了 2018年6月27日
			(予定) ・建屋内除染	現場作業	建屋内除染												・建屋内除染 2019年5月7日～2020年9月予定
		ALPSスラリー 安定化設備	(実績) ・安定化設備の設計検討	検討・設計	安定化設備の設計検討												
			(予定) ・安定化設備の設計検討	現場作業	除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽 (D) 除塩												・除染装置系統フラッシングおよび造粒固化体貯槽 (D) 除塩 : 2018年9月10日～2020年3月27日
3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減			(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計		一時保管エリアの保管量、線量率集計		一時保管エリアの保管量、線量率集計		一時保管エリアの保管量、線量率集計						
			(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	現場作業	ガレキ等の将来的な保管方法の検討		ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続		ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続		ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続		ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続				
4. 固体廃棄物の性状把握			(実績) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析 (現場: JAEA東海等) ・分析試料のJAEA東海・民間分析施設への輸送	検討・設計	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 固体廃棄物のサンプリング												・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられている <a href="https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/work/tech-info.html">https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/work/tech-info.html</a>
			(予定) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・分析 ・【研究開発】JAEAにて試料の分析 (現場: JAEA東海等)	現場作業	輸送準備 (放射能評価、計画書作成等) 実績反映 分析試料のJAEA東海への輸送												・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取 ・分析試料 (滞留水等) の輸送を4月8日に実施。
5. JAEA分析・研究施設の整備 (施設管理棟、第1棟、第2棟)			(実績) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内外装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付等)	検討・設計													・2017年3月7日: JAEA分析研究施設第1棟 実施計画変更認可 (原規規発第1703071号)
			(予定) ・第1棟建屋現地工事 連絡通路等工事 (連絡通路内装工事(継続)、1,2,3階ダクト工事(継続)等) 主要内装設備等工事 (鉄セル等の搬入・据付(継続)等)	現場作業	連絡通路等工事、主要内装設備等工事												・2018年2月28日:竣工 (施設管理棟) ・2018年3月15日:運用開始 (施設管理棟) ・2017年8月7日: 杭工事完了 ・2018年11月15日: 地上1階躯体工事開始 ・2019年3月15日: 地上2階躯体工事開始 ・2019年7月22日: 地上3階躯体工事開始 ・2019年11月7日: 鉄セルの搬入・据付開始

### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.3.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 <sup>※1</sup> (2020.2.28 - 2020.3.31)	変動 <sup>※2</sup> 理由	エリア 占有率	保管量 <sup>※3</sup> / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.21	400 m <sup>3</sup>	微減	⑥	0%	209700 / 266500 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フランジタンク解体片 2020年3月末時点でコンテナ1,020基保管。 エリアP1 コンテナ数: 622基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 398基 (2018年3月15日~)</li> <li>エリアAの運用変更により、保管容量(13,800m<sup>3</sup>)増加。 (2020年1月)</li> <li>エリアAは1~30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固 体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。</li> </ul>
	B	屋外集積	0.01	5,300 m <sup>3</sup>	0	—	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	63,100 m <sup>3</sup>	-100	①②⑦	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m <sup>3</sup>	0	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m <sup>3</sup>	0	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m <sup>3</sup>	0	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	44,000 m <sup>3</sup>	+100	③④	86%		
	P1	屋外集積	0.01未満	54,700 m <sup>3</sup>	+500	②⑥	85%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	6,000 m <sup>3</sup>	+100	②④	100%		
AA	屋外集積	0.01未満	13,100 m <sup>3</sup>	+600	⑤	36%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m <sup>3</sup>	0	—	58%	42700 / 71000 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)</li> </ul>
	E1	シート養生	0.02	14,300 m <sup>3</sup>	+100	⑥	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,800 m <sup>3</sup>	0	—	64%		
	W	シート養生	0.03	12,100 m <sup>3</sup>	+100	②⑥	41%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 容器(1~ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m <sup>3</sup>	0	—	100%	17900 / 24600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。</li> <li>覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m<sup>3</sup>)増加。 (2018年5月)</li> <li>エリアAの運用変更により、保管容量(7,100m<sup>3</sup>)減。 (2020年1月)</li> </ul>
	E2	容器 <sup>※4</sup>	0.01未満	1,200 m <sup>3</sup>	微増	⑥	68%		
	F1	容器	0.01未満	600 m <sup>3</sup>	0	—	99%		
Q	容器	0.04	0 m <sup>3</sup>	0	—	0%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器 <sup>※4</sup>	0.01	21,800 m <sup>3</sup>	+700	②⑥	48%	21800 / 45600 (48%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。</li> <li>固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m<sup>3</sup>)増加。 (2018年2月)</li> </ul>
合計(ガレキ)				292,000 m <sup>3</sup>	+2,200 m <sup>3</sup>	—	72%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m <sup>3</sup>	0	—	63%	97000 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m <sup>3</sup>	0	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m <sup>3</sup>	0	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	400 m <sup>3</sup>	+100	⑧	7%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m <sup>3</sup>	0	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m <sup>3</sup>	0	—	94%		
合計(伐採木)				134,300 m <sup>3</sup>	+100 m <sup>3</sup>	—	77%		
保護衣 屋外集積	容器	0.02	46,400 m <sup>3</sup>	-1,800 m <sup>3</sup>	⑨	68%	46400 / 68300 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済保護衣等焼却量 7192t (2020年3月末累積)</li> <li>焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1783本 (2020年3月末累積)</li> </ul>	
合計(使用済保護衣等)				46,400 m <sup>3</sup>	-1,800 m <sup>3</sup>	—	68%		

※1 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。  
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業  
 ⑥エリア整理のための移動(A→固体庫、P1→E1、W→E2、固体庫) ⑦砕石取り出し ⑧伐採木受入 ⑨焼却運転

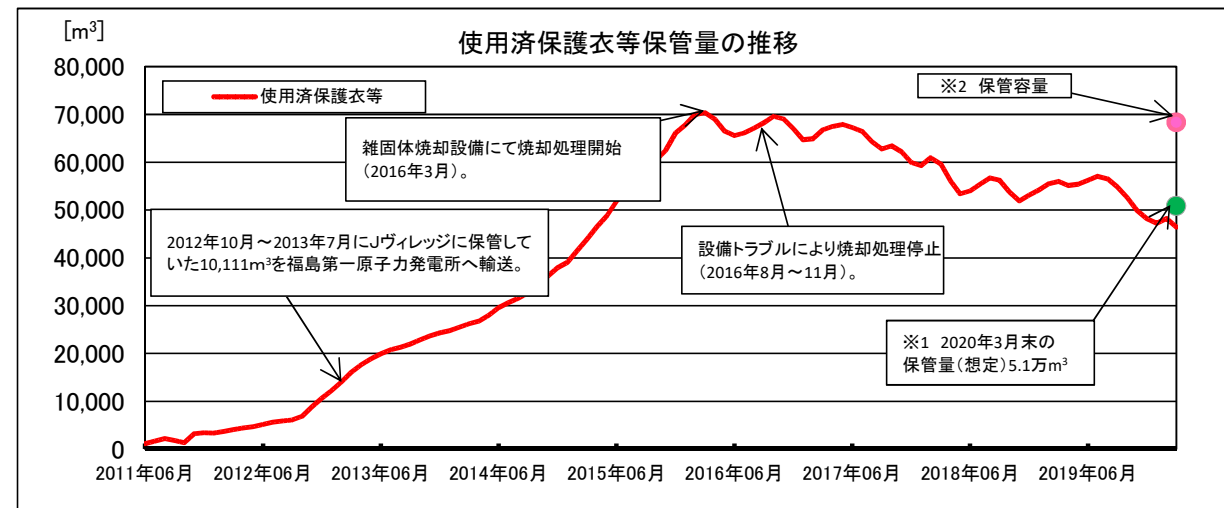
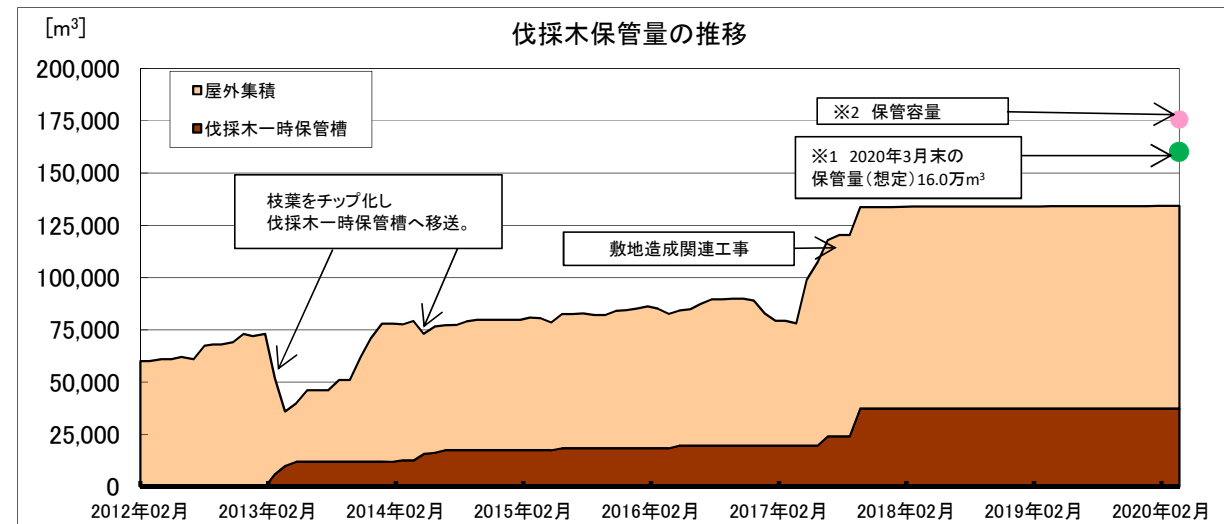
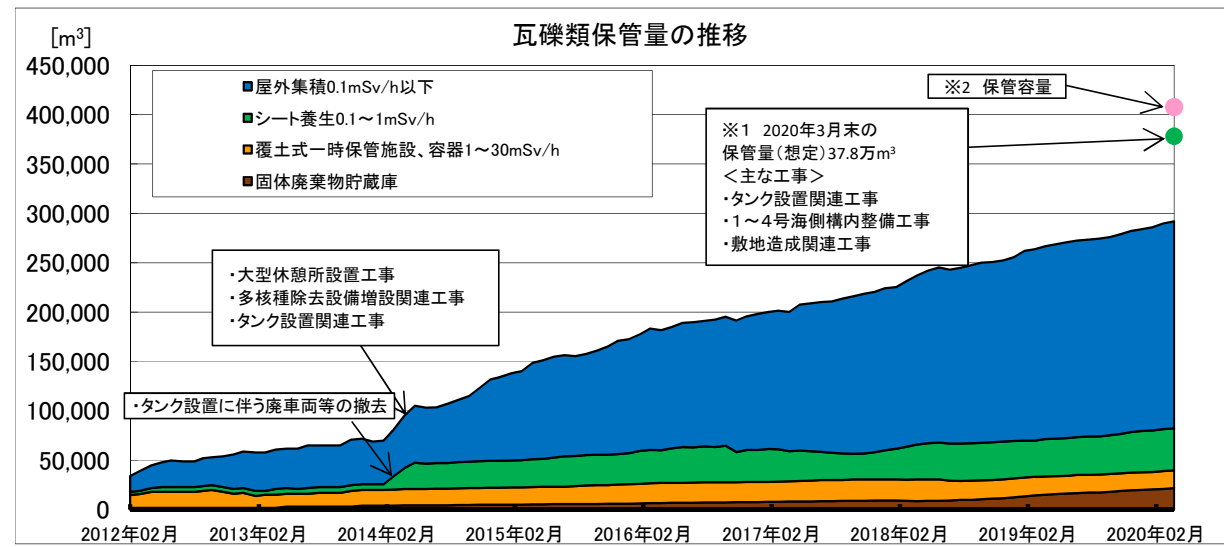
※3 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。  
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



### 水処理二次廃棄物の管理状況(2020.4.2時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2020.3.5 - 2020.4.2)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次廃棄物 使用済吸着塔 保管施設	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4718 / 6372 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日)</li> <li>使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)</li> </ul>
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	230 本	+2 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	2 本	+1 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,727 基	+8 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	+2 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	212 本	+2 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。</li> <li>準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。</li> </ul>
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,356 m <sup>3</sup>	+11 m <sup>3</sup>	9356 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし)</li> <li>水位計0%以上の保管量: 9256 [m]</li> <li>タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]</li> </ul>

### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.3.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。  
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

### 水処理二次廃棄物の管理状況(2020.4.2時点)

